

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会  
福島市推進協議会」設立趣意書

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催という機会は、単なるスポーツの祭典に留まらず、これを契機として地域がその特色や魅力を活かした様々な取組を行うことにより、地域の活性化や新たな魅力と価値の創造・発展につなげていくことが可能となります。

すでに、全国では、来る2020年を見据えてそれぞれの地域や関係団体等で独自の取組が始まっています。

本市においては、野球・ソフトボール競技が開催されることが決定し、また、スイス連邦を相手国とするホストタウン交流が始まるなど、東京オリンピック・パラリンピックを契機として、これまでにない新たな取組がスタートしました。

こうした動きに合わせ、本市が連綿と受け継ぎ培ってきた歴史・文化、観光、自然、産業など様々な分野における独自の魅力を改めて再発見・再評価するとともに国内外へ情報を発信し、本市ならではの特色を活かした取組やおもてなしを実践していくことが重要です。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を絶好の機会と捉え、開催までの3年余りの期間の中で本市初となる野球・ソフトボール競技開催を成功させ、併せて風評払拭、交流人口の拡大及び地域の活性化に向けた具体的な取組やおもてなしを戦略的かつ効果的に実践していくため、市民や民間の知恵と力を結集し官民が連携して「オール福島」で取り組む「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会」の設立を発起いたします。

平成29年5月11日

発起人 福島市長 小林 香